

04 名前: \_\_\_\_\_

学籍番号: \_\_\_\_\_

④

カレントディレクトリの下に、新しい空のディレクトリ E を作るには \_\_\_\_\_

カレントディレクトリの下に、新しい空のファイル e を作るには \_\_\_\_\_

カレントディレクトリの下にあるファイル f を削除するには \_\_\_\_\_

カレントディレクトリの下にある空のディレクトリ E を削除するには \_\_\_\_\_

カレントディレクトリの下にある中身のあるディレクトリ F を中身ごと削除する場合には \_\_\_\_\_

上記の中身のあるディレクトリ中身ごと削除に用いたオプションは英単語 \_\_\_\_\_ の  
頭文字であり、日本語では \_\_\_\_\_ という言葉を意味する。

Unix 上での上記コマンドによるファイルやディレクトリの消去は取り消しが \_\_\_\_\_  
現在いるディレクトリの下に、新しいディレクトリ Bdir を作りその中に Cdir を作るには、

\_\_\_\_\_

(複数のコマンドラインを続けて実行する場合にはコマンドラインの間に % を書く、以後同様に記述)

テキストファイルの内容を表示するコマンドは \_\_\_\_\_ であり、これは \_\_\_\_\_ と  
いう意味の英単語 \_\_\_\_\_ の一部である。

テキストファイル a.txt の内容を画面上に表示するには、 \_\_\_\_\_ とする。

テキストファイル a.txt の内容に続けて b.txt の内容を画面上に表示するには、  
\_\_\_\_\_ とする。

上記の a.txt と b.txt の内容を連結した結果をファイル c.txt という新しいファイルの内容と  
するためには \_\_\_\_\_ とする。

a.txt の内容を行番号をつけて画面上に表示するには \_\_\_\_\_ とする。

長いテキストファイル a.txt の先頭 5 行だけを画面表示するには \_\_\_\_\_ とす  
る。同様に a.txt の末尾 5 行だけを画面表示するには \_\_\_\_\_ とする。

ログファイルなど計算機によって刻々と内容が書き加えられているファイル sys.log の状態  
を監視するためには、 \_\_\_\_\_ とする。

非常に長いファイルの内容を 1 ページずつ表示するにはコマンド \_\_\_\_\_ または \_\_\_\_\_ を用  
いる。これらの、いずれのコマンドも実行後はファイルの初めの 1 画面分だけが表示され、  
次のページを表示するには \_\_\_\_\_ キーを押す。また数ページ進んだ後で 1 ページ  
分上に戻りたければ \_\_\_\_\_ キーを押す、表示を終了したい場合には \_\_\_\_\_ キーを押す。

上記のコマンドのうち \_\_\_\_\_ コマンドは \_\_\_\_\_ オプションをつけることで行番号  
を表示できる。また、 \_\_\_\_\_ 記号の後に探索したい文字列をつければ、カーソルよりも下にマ  
ッチする文字列があれば、その文字列の先頭にカーソルが移動する。一度検索を実行すれ  
ば、下側に存在する同じ文字列を \_\_\_\_\_ キーを押すことで次々に探索することができる。こ  
れらのコマンドによる表示を終了したい場合には \_\_\_\_\_ キーを押す。

ファイルをコピー（複製）する場合には、\_\_\_\_\_ コマンドを用いる。このコマンドは通常  
アーギュメントを2つ取り、1つ目は\_\_\_\_\_ のファイル/ディレクトリ名であり、  
2つ目は\_\_\_\_\_ のファイル/ディレクトリ名である。このコマンドは、単純な様  
であるが、それぞれのアーギュメントがファイルであるかディレクトリであるか、あるいは  
2つ目のアーギュメントの名前と同じものが\_\_\_\_\_ するかしないか、などによって  
様々に挙動が変わりうる。

/etc ディレクトリにある hostname という名前のファイルを現在いるディレクトリに cpf と  
いう名前でコピーするとき \_\_\_\_\_ とする。

/etc にある legal というテキストファイルを、カレントディレクトリに同じ名前でコピーす  
るとき \_\_\_\_\_ とする。

ここで、cp legal cpf とすると、/etc/hostname に由来する cpf の内容は \_\_\_\_\_ さ  
れる。

コピー元のアーギュメント（コピーされる実体）がディレクトリである場合、コピーをする  
コマンドに \_\_\_\_\_ というオプションをつける必要がある。元のディレクトリが空で何も  
入っていない状態の場合、このオプションは（必要・不要）である。

ファイルを複製するコマンドで、コピー先を示すアーギュメントが \_\_\_\_\_ で  
ある場合、コピー元のアーギュメントを複数列挙することができる。

mv コマンドの機能・用途を2つ挙げなさい \_\_\_\_\_

mv コマンドも通常アーギュメントを二つ取り、1つ目は \_\_\_\_\_ のファイル・デ  
ィレクトリ名であり、2つ目は \_\_\_\_\_ のファイル・ディレクトリ名である。

カレントディレクトリ内に a.txt というファイル一つだけが存在する時、% mv a.txt b.txt  
としてから ls コマンドを実行するとどのように表示されるか \_\_\_\_\_

カレントディレクトリ内に a.txt というファイルと DIR という空のディレクトリが存在する  
時、mv a.txt DIR とした後、ls とすると \_\_\_\_\_ と表示される。また、ls DIR  
とすると \_\_\_\_\_ と表示される。（以下、何も表示されない場合は-を記入）

ファイルを複製するコマンドで実行したように、/etc にある hostname という名前のファイ  
ルを空のカレントディレクトリに持ってくるために mv /etc/hostname . とした後 ls を  
実行すると \_\_\_\_\_ と表示される。

カレントディレクトリに、a.txt というファイルの入った ADIR という k ディレクトリだけが  
ある時、mv ADIR BDIR とした後、ls を実行すると \_\_\_\_\_ が表示され、ls  
BDIR を実行すると \_\_\_\_\_ が表示される。

% echo ~ と入力すると、 \_\_\_\_\_ と表示される

% ls / と入力すると \_\_\_\_\_ ディレクトリにあるファイルとディレクトリが表示される。

cpf, mpf, mpp, mppp の4つのファイルがあるディレクトリで、ls \*pf と入力すると、

\_\_\_\_\_ と表示される。また ls mp?? とすると \_\_\_\_\_ と表示される。

以下のコマンドを実行して表示される出力を右側に書きなさい

空のディレクトリ内で、`touch f{1..3}`として `ls` すると \_\_\_\_\_

空のディレクトリ内で、`touch f{A,B}`として `ls` すると \_\_\_\_\_

この時点で幾つのファイルがこのディレクトリ内にできたか？ \_\_\_\_\_

さらに `fileA` `FILEA` という二つの空のファイルをコマンド 1 回で作成するにはどうするか \_\_\_\_\_

出力として `~` 記号 1 文字を画面に出すためにはどう入力するか \_\_\_\_\_

シングルクォート記号を用いて、出力として `$SHELL` という文字列を展開せずに画面に出力するためにはどう入力するか \_\_\_\_\_

`echo "$SHELL"`と入力すると出力はどうなるか？ \_\_\_\_\_

出力として `!5` の 2 文字を画面に出すためにはどう入力するか \_\_\_\_\_

`/etc`にある `legal` というファイルのシンボリックリンクをカレントディレクトリに同じ名前で作るには \_\_\_\_\_

カレントディレクトリにある `afile` という名前のファイルのシンボリックリンクを `bfile` という名前で作成するには \_\_\_\_\_

`cat afile` とすると画面に 1 行 `hello` とだけ表示されたとする。上記の後、`cat bfile` とすると画面にはどのように表示されるか \_\_\_\_\_

続いて `rm bfile` として `cat afile` とするとどのように表示されるか \_\_\_\_\_

上記で `rm bfile` の代わりに `rm afile` としてから `cat bfile` とするとどの様に表示されるか \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

カレントディレクトリの下にある、`foo.txt` という名前のファイルをすべて探索して、画面上に表示するにはどの様にするか \_\_\_\_\_